

毎日帰る
場所ですが、
森に来たような
気持ち良さが
あります。



10



11

12

10、11、12：レーベンスガルテン山崎
おじいさんと女の子がせつせと一緒にお仕事。団地の敷地内に住民が使える農園がある。
(神奈川県鎌倉市)

13、14、15：多摩平の森
UR賃貸住宅「多摩平の森」の敷地の一角に森が保存されている。東京駅から電車で1時間。都心で
働きながら、子どもたちを大自然の中で育てる。
(東京都日野市)



13



14



15

この冊子に登場するのはUR都市機構が手がける賃貸住宅です。
礼金や更新料、保証人、仲介手数料を必要としない点が特徴のひとつです。
一部を除いて、先着順で受け付けております。

UR賃貸住宅(首都圏)のお申し込みに関するお問い合わせ

フリーダイヤル **0120-411-363**

午前9時30分～午後6時(定休日：なし/年末年始を除く)

インターネットからのお申し込み

www.sumai.ur-net.go.jp



右のQRコードを対応端末で読み取っていただくと、
UR賃貸住宅のお申し込みサイトへアクセスできます。

この本の撮影にご協力くださったみなさん：
田村燕ちゃん&こるりちゃん、黒田家のみなさん、レーベンスガルテン山崎のみなさん、カガリユウス
ケさん

2014年4月1日 発行

発行：独立行政法人 都市再生機構 (UR都市機構) 技術・コスト管理部
〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー
tel.045-650-0111 (代表)

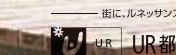
企画・監修：(株) オープン・エー
編集：安田洋平
編集補助：佐藤可奈子
撮影：一之瀬ちひろ
スタイリング協力：高澤祥子
装丁：須山悠里
印刷・製本：(株) 八紘美術

協力：団地R不動産 www.realdanchiestate.jp



暮らしと。
グリーン

撮影：一之瀬ちひろ



自宅で作業をしながらパソコンのキーをひっきりなしに叩く手を休めて、時々ゴムホースを握ったり、軍手をはめて土を触りたいと感じるときがある。

普段はそれほど自覚していないけれど、休みの日に自然の豊かな場所へ家族で出掛けたりすると「本当は日々の生活でも、もう少し緑の多い環境で暮らしたい」と欲している自分に気づく。

子どもができて、やっぱり自然がいっぱいのところへ移り住みたいと思う気持ちが増している。田舎暮らしとまで行かずに、それは叶わないものだろうか。

「暮らしと。」は、団地の環境を再発見するための写真集です。現在、「グリーン」「コミュニティー」「子ども」「スポーツ」「商店」の5冊を配布中。

(詳しくは www.kurashito.jp まで)

この本は「グリーン」。カメラマンは、一之瀬ちひろさん。

一之瀬ちひろ プロフィール

1975年東京生まれ。2000年コニカフォトプレミオ入選。2012年銀座ニコソロン個展「KITSILANO」。作品集に『ON THE HORIZON』(ARTS AND CRAFTS)『KITSILANO』(PRELIBRI)がある。2011年よりリトルブックレーベル『PRELIBRI』の活動を始める。また、雑誌「暮らしの手帖」第4世紀55～67号の巻頭扉写真を担当。
<http://www.freaksphotos.com/chihiroichinose/>

表紙の写真＝多摩平の森 (東京都日野市)

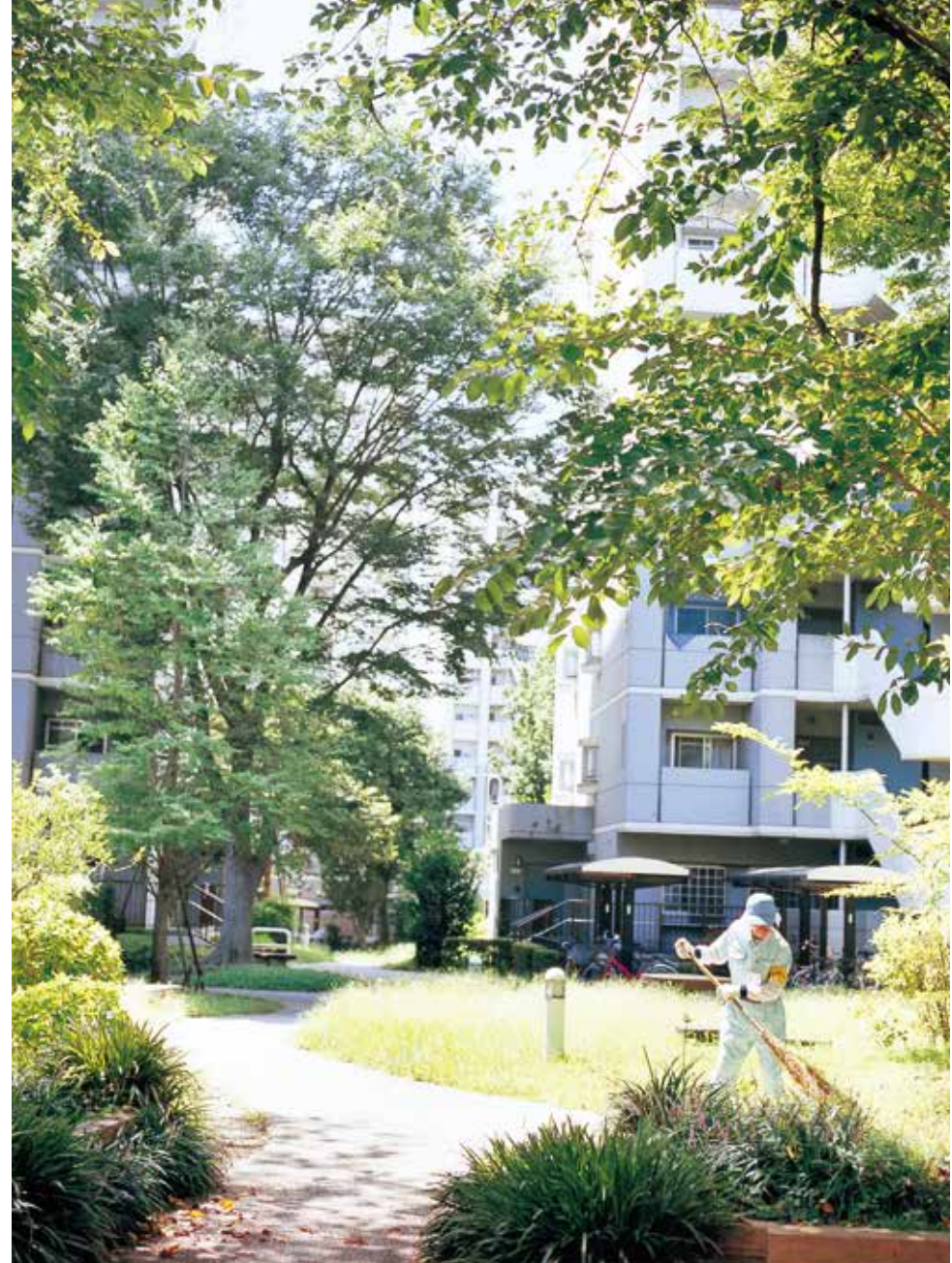


1



2

1、2、3：武蔵野緑町パークタウン
数十年をかけて育った樹木たちが大切に残されている。敷地内に足を踏み入れると、森に来た心地になる。
(東京都武蔵野市)



3

4、5：神代団地
グリーンで彩られたベランダ。下を見れば、一面に緑の芝生が広がっている。窓からは背の高いケヤキも見える。新宿までは電車でだいたい30分のところにある団地。
(東京都調布市)

4



5



6

6、7、8、9：立川一番町東団地
ここの特徴は1階の部屋に専用庭がついていること。緑側から緑を愛でる男性。
(東京都立川市)



7



8



9

さまざまな種類の植物が植えられており、季節ごとに異なる風景を楽しむことができる。